

とだ 議会だより



保育園4園新設!さらなる対策を! 平成28年度予算決まる ▶ 2

委員会の審査から ▶ 8

総括質問 各派代表質問 ▶ 10

そとがききたい 11人の議員が一般質問 ▶ 13

正副議長就任あいさつ ▶ 19

常任委員会の年間活動成果 ▶ 20

保育園4園新設！さらなる対策を！

- 戸田すこやか保育園(新曽).....80人
 - むつみ保育園(新曽).....40人
 - ちびっこランド戸田駅前園(新曽).....64人
 - ちびっこランド戸田公園駅前園(本町).....55人
- 議会も待機児童の解消に向け積極的に取り組みます！

さらなる新設を！

幼稚園との連携を！

保育士の確保と処遇改善を！

| | | |
|--------|-------|-------|
| 平成28年度 | 予算決まる | |
| 一般会計 | 472億円 | 1.4%減 |
| 特別会計 | 252億円 | 4.7%減 |

主な議案

主な議案

委員会の審査から

委員会の審査から

総括質問

総括質問

一般質問

一般質問

委員会年間活動成果

委員会年間活動成果

平成28年度 戸田市予算マップ

| イベント名 | 日程 |
|---------------------|-----------------|
| 第63回戸田橋花火大会 | 8月6日(土) |
| 第42回戸田ふるさと祭り | 8月20日(土)、21日(日) |
| 第25回全国市町村交流レガッタ戸田大会 | 9月17日(土)、18日(日) |
| 市制施行50周年記念式典・とだ50祭 | 10月1日(土) |
| 第33回戸田マラソンin彩湖 | 11月(日)には未定 |

(財務部財政課作成)

平成28年 3月 定例会

2月22日～3月25日

主な議案

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果

主な議案

廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正

粗大ごみに係る処理手数料について、受益者負担の見直しや、市民の利便性向上を図るためコンビニエンスストアでの粗大ごみ収集券販売を実施することから、本年9月1日から、1点につき200円から400円に改定するものです。

質疑

改定の経緯と、額の根拠は。

A 戸田市では、平成12年9月より処理手数料を有料化し、1点当たり200円を負担していただいている。その後、市の財政状況が厳しさを増す中で、手数料の額が一度も改定されていないことや他自治体に比べ低廉な額であることなどを踏まえ、「受益者負担の見直し方針」に基づき、利用者に相応の負担をお願いする必要があると考えた。額の根拠は、粗大ごみの収集から処理までの経費の過去3年間の平均を算出し、1点当たりの単価に換算すると、収集運搬費等に係る経費が



本田哲 議員

373円、蕨戸田衛生センターでの処分費を合わせると835円かかっている。今回の改定では、粗大ごみの収集運搬費等に係る経費分を受益者負担として見直し、また、利便性向上のため、コンビニエンスストアにおける粗大ごみ収集券の販売も導入することとした。収集運搬費等の1点当たり373円にコンビニでの販売手数料その他経費を加えると約400円となり、この額を根拠としている。

現在、収集券の販売枚数は約10万枚、コンビニエンスストアへ40円の手数を支払うというところで、つまり400万円で収集券販売の拡大はできる。条例の目的に沿って、市民が安価で気軽に粗大ごみ等を処理できる環境を継続することが重要。県内一豊かな財政を生かせば、粗大ごみの処理経費は十分に捻出できる。

いきました。

市長施政方針に対する総括質問では、会派を代表して5人の議員が質問を行いました。また、3日間わたる一般質問では、11人の議員が活発な論戦を展開しました。

ない。

平成28年度予算のあらまし(千円単位は切り捨て)

- 一般会計予算 472億5300万円
- 特別会計予算 252億6251万円(12特別会計の合計額)
- 水道・下水道事業の予算

| 項目 | | 水道事業会計 | 下水道事業会計 |
|-------|----|-----------|-----------|
| 収益的収支 | 収入 | 25億6792万円 | 26億3557万円 |
| | 支出 | 25億3774万円 | 26億3557万円 |
| 資本的収支 | 収入 | 3848万円 | 9億940万円 |
| | 支出 | 12億2637万円 | 16億4385万円 |

※一般会計予算の内訳は、5ページをご覧ください
 ※収益的収支…水道水の供給や下水の処理にかかる収入と支出
 ※資本的収支…配水管や浄水施設、下水道管やポンプ場の建設更新などにかかる収入と支出

大きな市民負担増とならない範囲で市民の利便性が向上



真木大輔 議員

粗大ごみは、その排出量が個人や家庭の生活様式に大きく依存する。応分の負担を求めることは市民負担の公平性確保につながる。現行の処理手数料は県内の市の中で最も低い額であり、これを400円に改定し、併せてコンビニエンスストアで収集券の24時間販売を実施することにより、市の持ち出しは約6400万円から約4800万円に縮減される。蕨市、川口市の例を見れば、今回の手数料改定により、戸田市でも粗大ごみの排出抑制が予想される。大きな市民負担増とならない範囲で市民の利便性向上を図られる今回の改定は妥当である。

原案可決(19対3)

一般会計補正予算
 歳出では、国民健康保険特別会計繰出金、及び財政調整基金の積立金の増額。歳入では、市税及び地方消費税交付金の増額、並びに前年度繰越金等を見込んだものです。

多額の余剰金は市民生活に還元すべき
 平成27年度は「財政が厳しい」「数年来、値上げを行っていない」「受益者負担による公平性」などを理由に、保育料、自転車駐車場登録手数料の値上げが決定され、多くの市民から値上げ反対の意見があった。今回の補正予算の基金積立総額は21億1200万円にも上る。地方自治の役割である「住民の福祉の増進に努める」とい



花井伸子 議員

質疑

NHK全国放送公開番組「新・BS日本のうた」を実施する経緯は。
 ANHKでは、地域の歴史や文化、風俗の習俗、そこに住む人々の暮らしや町の息吹など、地域の情報を放送を通じて全国に伝え、地域の皆様に楽しんでいただける催し物として「全国放送公開番組」を行っ



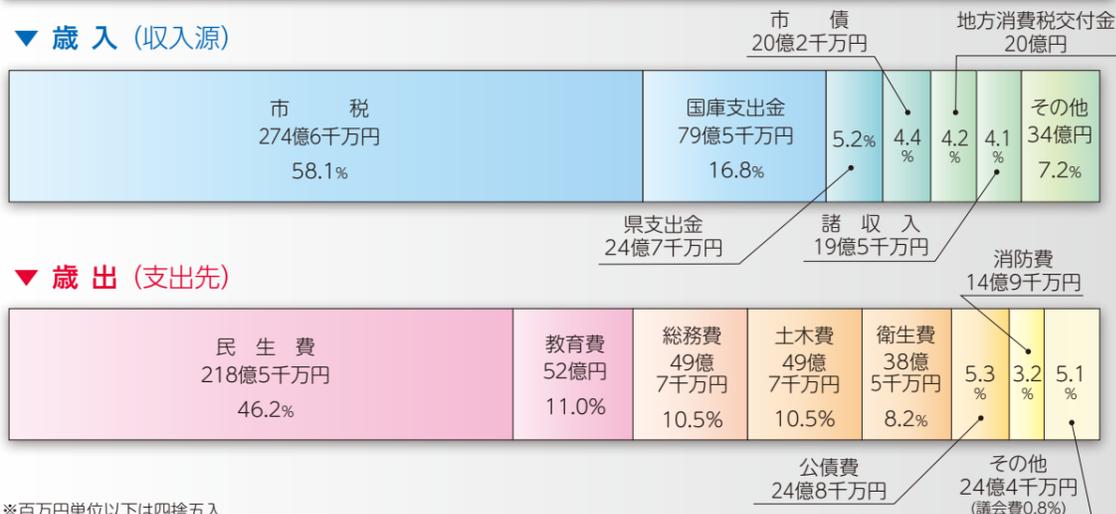
花井伸子 議員

ており、周年記念等において文化振興などを目的に、自治体からの申請を受け計画をしていく。昨年6月にNHKより公開番組の案内を受け、8月に申請をした。NHKでは全国からの申請を調整し、本年9月22日に文化会館において「新・BS日本のうた」の収録を行うことで決定したとの通知を受けた。

利用者の生活への配慮を欠いた値上げに反対

歳入において、保育園保育料、100%受益者負担の原則の下、値上げされた埼京線3駅自転車駐車場利用料が計上されている。利用者の生活への配慮を欠いた値上げは、市が求める「幸せを実感できるまち」と逆行する。歳出において、①上

【一般会計予算 472億5300万円の内訳】



主な議案

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果

戸田地域交流広場整備事業について、近隣住民への対応は十分に配慮すべきだが、建物を建設するわけでもない整備事業に1億9千万円もかける必要があるのか②上戸田地域交流センター管理運営事業の実質管理運営費は約1億円、これまでの上戸田福祉センター管理運営費の3倍以上の予算で、再整備とともに使用料金が2倍から3倍に値上げされた。長年活動してきた登録団体が、値上げがもとで解散に追い込まれたところもある。誰もが利用しやすい使用料にすべき③埼京線3駅の自転車駐車場の土地賃借料は受益者負担100%として利用料に転嫁されている。自治体によっては受益者負担の算定に入れない自治体もある。利用料金の見直しを含めて、市民が利用しやすいシステムに改善されるよう要求する④平成28年度は、市内小学校の12人のA

LTを直接雇用から派遣に戻す年度となる。単年度契約だからと、ALTの同意を得ることもなく、突然、派遣に切り替えることを伝えられたということだ。ALTの安定的な確保、質の向上を目指すのであれば、直接雇用を継続し、「社会保険の加入」や「交通費の支給」など、当たり前の労働条件を整備することが必要と考えられる⑤市内小中学校の非常勤職員、臨時職員に対しても、労働実態に合わせた形での、「社会保険への加入」や「年次有給休暇の付与」など、労働条件の改善や整備を積極的に行うことを強く求める。



細田昌孝 議員

適正な受益者負担に基づいており、歳入は適切

上戸田地域交流広場整備事業について、経

**水道事業会計予算
下水道事業会計予算**
※予算額は4ページの予算のあらまし参照。



本田哲 議員

上下水道は国と地方自治体が責任を負うべき

上下水道に関わる包括委託として、窓口業務、浄水場等の運転管理業務を中心とした48業務の委託であるが、将来的に委託内容が、どこまで広がっていくかは判断がつかない。また、現時点で守られている労働者の雇用形態も守られていくか、大いに心配する。この包括委託をきっかけに、今後、民間への業務委託内容が増え、企業が収益を上げることを考え、上下水道事業に係る設備工事費などを抑え、上下水道料金の値上げを行うことは十分に考えられる。上下水

道は、水という生活の基盤を支える公共サービスであり、憲法25条に基づき、国と地方自治体が責任を負うべきものと考えられる。この包括委託により、将来的に社会経済的弱者が利用しにくい環境になってしまふことは大いに問題がある。また、包括委託は、上下水道事業に限らず、今後、全庁的な全ての業務において適用される可能性があり反対する。



石川清明 議員

包括委託の開始は、適切・妥当

包括委託は、先行事業体の事例を十分に研究した上で、スケールメリットによる経費の削減、一括発注による効率的な維持管理、複数年契約による業務の安定化、民間のノウハウを生かしたサービスの向上を図り、持続的な事業運営の確立を目

費は市民会議で決定した設計項目に基づき単価により算出されたものである。解体工事はあることから、防音パネルや振動・騒音計の設置なども含まれており、近隣住民に配慮して実施するとともに、工事内容や工期などは、通常の解体工事と比べて慎重に実施する計画となっている。上戸田地域交流センター管理運営事業については、これまで上戸田福祉センターで実施していた事業を拡大し、男女共同参画センターで行っていた事業などを加えて展開している。また、市民要望によって施設規模や開館日時を拡大したこと、利用者も大幅に増加している。旧上戸田福祉センターの運営費には、常勤職員の人件費などが含まれていなかった。指定管理料は、維持管理費や運営費として適正な金額である。自転車駐車場管理事

業については、今回のリニューアルにより、自転車ラック等の施設の改善や、指定管理者による民間サービスの導入が図られ、利用者の利便性が大きく向上するものと考えられる。利用料金については、受益者負担100%の考え方に基づき、改修工事や土地賃借料等の費用を適切に算定し、市への納付額が決定されており、指定管理者の安定運営も勘案した上で、近隣に比べて安い料金設定となっている。保育園保育料は、利用者の所得状況に配慮した設定となっており、近隣市との比較においても、適正な受益者負担に基づくものである。自転車駐車場指定管理者納付金は、民間活力の導入により中長期的な財政負担の軽減につながるものであり、適正な受益者負担に基づいて指定管理者の10年間の収支計画から算定されたもので、いずれの歳入も適切である。



真木大輔 議員

活力ある住民に選ばれる町になりつつあることを大いに評価

歳入において、個人市民税が前年度比3億8千万円増となっているのは、景気回復や納税者数の増加のみならず所得を持った市民の転入にもよるとのこと、戸田市が活力ある住民に選ばれる町になりつつあることの表れとして大いに評価する。競艇事業は、近年進められた経営改善の結果、戸田市への配分金が前年度比5千万円増となることを評価する。歳出においては、出産や子育てに悩む人への身近な相談場所となる「子育て世代包括支援センター」の設置、高齢化やいざい訪れる人口減少に備えるためにコンパクトなまちづくりを進める「立地適正化計画」の策定着手、貧困の連鎖を防ぐため

に生活困窮家庭やひとり親家庭などの子供たちに対し実施する学習支援事業など、今日の我が国の社会的課題に對し率先して対応する姿勢は、戸田市ならではのものと評価する。教育においては、放課後の学習支援などにおける民間機関との連携や、全小中学校における体育館を含めての無線LAN環境整備など、全国をリードする教育施策の実施を評価し、来年度組織される教育政策室を中心とする、新しい学びの創造に向けて一層の教育改革、そして子どもたちの将来の活躍に大きな期待を抱く。その他にも評価すべき事業があったが、一方で課題も見受けられた。委員会審査の過程で各委員から出された意見を真摯に受け止め、今後の改善につなげていただくことを期待し、賛成討論とする。

《結果》
原案可決(19対3)

〔人事案件〕

副市長

石津 賢治氏(新任)

教育委員会委員

仙波 憲一氏(再任)

公平委員会委員

江口 嘉一氏(再任)

監査委員

小川 千恵子氏(新任)

《結果》
いずれも同意(全員一致)

〔請願の結果〕

〔不採択(2件)〕 (3対19)

▼安全保障関連法の廃止を求める意見書を国に提出してほしい旨の請願

▼「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書を採択してほしい旨の請願

○若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願

意見書(議員提出議案)を政府に提出

◆児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

児童虐待により幼い命が奪われる深刻な事態が続いている。政府は昨年12月に策定した「児童虐待防止対策強化プロジェクト」の施策の方向性を踏まえ、早期に児童福祉法等改正案を国会に提出するとともに、子育て世代包括支援センターを法定化し、全国展開を図ること等の事項を速やかに実施するよう強く要請する。

茨城県
日立市
委員会視察レポート
健康福祉委員会

「介護予防・日常生活総合支援事業」を健康寿命の延伸につなげる取り組みを

日立市では、「介護予防・日常生活総合支援事業」を、全国でもいち早く、平成27年4月から開始していました。事業の早期導入を前向きに捉え、介護認定手続きを簡略化するなど、事務負担等を軽減する制度設計が行われていました。
【検証の結果】
日立市に倣い、地域住民主体のサービス提供による、健康寿命の延伸が大切であるなどの意見がありました。



▲1月19日 日立市役所にて

こんな質問、あんな意見もありました。

議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。その経過と結果は、3月25日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。

委員会の審査から

総務常任委員会

文教・建設常任委員会

健康福祉常任委員会

市民生活常任委員会

主な議案

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果

総務

※各常任委員会の所管部署
政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等

むつみ荘跡地の有効活用の検討を



▲むつみ荘跡地の現在の様子

〔28年度予算〕

文書管理費では、執行部から、主に都内在住で住宅購入を検討中の子育て世代にPRするため、インターネット検索サイトのヤフーに広告を掲載するとの説明があり、多様化する情報発信の手法に関する費用対効果も十分に検討するよう要望が出

されました。

財産管理費では、借地として貸し出す方向で検討されている、むつみ荘跡地の有効活用について、地元住民等、市民の意見を十分聞いてもらいたいとの要望が出されました。

選挙管理委員会費では、選挙権年齢の引き下げ対策について質疑

健康福祉

福祉部・子ども青少年部
福祉事務所
市民医療センター

レセプトデータの分析による医療費抑制の取り組みを

〔27年度補正予算〕

生活保護扶助費における医療扶助に関する質疑では、執行部から、ジェネリック医薬品の利用促進や、レセプト点検による頻回受診チェックなど、支出抑制

に取り組んでいるとの答弁があり、レセプトデータの分析などによる医療扶助費用の抑制にも取り組んでもらいたいとの意見がありました。

国民健康保険被保険

者療養給付費につ

いては、下半

期の医療費が、

例年では下降傾

向を示すものの、

27年度は下半期

も高額な医療費

が続いた状況が

グラフにより説

明され、その理

由についての質

疑に対しては、

くも膜下出血、

虚血性心疾患、

脳梗塞など医療

費が高額な疾病

の件数が下半期

に集中したこと

などの説明があ



▶レセプト点検作業の様子
(保険年金課)

があり、執行部から、若い市民が投票しやす環境づくりの一環として、同世代の市民に選挙立会人を務めてもらいたいと考えており、18歳の市民に送付するパスデーカードでも募集を呼びかけるとの答弁がありました。

生時の防災備蓄品について質疑があり、執行部から、防災備蓄倉庫の多くが地上に設置されており、水害時は水没することから、28年度は、市内の全小中学校の上層階に最低限の食料と水を備蓄するとの答弁がありました。

文教・建設

都市整備部
教育委員会

市費によるスクールソーシャルワーカー

を新たに任用

〔28年度予算〕

土木費の交通安全施設費では、工事箇所を選定について質疑があり、執行部から、原則として学校周辺を優先的に対応しているとの答弁がありました。

道路新設改良費では、富士見大橋の工事概要について質疑があり、執行部から、点検結果により劣化が判明した部分の補修工事を予定しているとの答弁がありました。

また、カーブミラーの破損対応について質疑があり、執行部から、破損を確認した場合、すぐに対応しているとの答弁がありました。

教育費の教育指導費では、ICTレッスアドバイザーの導入効果について質疑があり、執行部から、新しい学びを促すICTシステム



▶工事を予定している富士見大橋

市民生活

市民生活部・環境経済部
消防本部
上下水道部

販売店拡大に当たったの検討経過は：粗大ごみ収集券

〔廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正〕

粗大ごみ収集券の販売店拡大に当たったの検討経過について質疑があり、執行部から、受益者負担の適正化という観点で検討していく中で、新たなサービスとして、コンビニエンスストアでの収集券販売も併せて検討したとの答弁がありました。

取り組みが必要ではとの意見があり、執行部から、育児等で離職した保育士が復職しやすい環境を整備し、保育士の確保に努めているとの答弁がありました。

環境保全費では、執行部から、大気常時監視測定局の測定器の入れ替えに伴い、費用対効果を勘案し、測定局2局を28年5月末に廃止するとの説明がありました。

これに対し、地元町会やまちづくり協議会への説明を行ったほしいとの意見がありました。

公園費では、(仮称)戸田公園高台広場にお



▶商業調査を行う戸田公園高台広場

ける商業調査の実施後の流れについて質疑があり、執行部から、公園整備も含め、シテイスールズに生かしていきたいとの答弁がありました。これに対し、高台広場の整備が前提の調査にならないようにしてほしいなどの意見がありました。

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果



「創生総合戦略」を どう進めていくのか

「活力あるまち」に 全力で取り組む

公明党 手塚 静枝 議員

議員 戸田市版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、4つの基本目標に基づいて取り組むとしているが、平成28年度から、何を、どのように進めていくのか、主な取り組みを伺う。

市長 「総合戦略」の4つの基本目標を実現するため、平成31年度までの事業計画「アクションプラン」を、各部連携し作成している。



議員 指導課を教育政策室に改めた経緯と、先導的・先見的な教育の取り組みとは何か。

市長 「総合戦略」の4つの基本目標を実現するため、平成31年度までの事業計画「アクションプラン」を、各部連携し作成している。



「ボートのまち戸田」のさらなる推進PRは

「オール戸田の体制で臨む」

志政クラブ 熊木 照明 議員

議員 本市のスポーツ推進について、9月に市制施行50周年事業として「全国市町村交流レガッタ戸田大会」が開催されるが、「ボートのまち戸田」をさらに推進PRする絶好の機会と考えるが、今後の展望について伺う。



▲昨年開催された津幡大会で力漕する戸田市議会チーム「サクラソウ」 ※手前

市長 「全国市町村交流レガッタ戸田大会」の開催は、「ボートのまち戸田」をPRする絶好の機会と捉え、今後の展望について伺う。

議員 本市は「地域防災計画」により対策を講じているが、いざというときの防災リーダーの育成について伺う。

市長 自助・共助重視の地域防災力向上に寄与する防災士育成のため、防災士資格取得支援事業を開始し、28人が資格を取得するが、さらに事業を継続していく。



社会福祉協議会本部 移転の効果は

「市の保健部門との連携が深まる」

平成会 秋元 良夫 議員



議員 地域包括ケアシステムを具体化していく上で、地域福祉の考え方は必要不可欠と考えるが、社会福祉協議会本部を福祉保健センターに移転させることで期待する効果は。

市長 社会福祉協議会には、これまでの経験や実績を生かし、高齢者の生活を支える生活支援体制づくりの中核となっていた。移転により、市の保健部門との連携が深まり、健康増進や介護予防等、さらなる地域福祉の向上に期待する。

議員 今後の大変革し

議員 窓口に不満が見られ、接遇の不満が見られ、「住みたい住み続けたいまち戸田」を目指すなら、市役所の顔である職員の接遇改善は必須と思うが、取り組みは。

総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針または市長就任時に行われる所信表明に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表質問のことです。

今定例会では、3月3日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをいただきました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。総括質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。総括質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

なお、施政方針の内容は、4月1日号の「広報戸田市」に掲載されていますので、あわせてご覧ください。



▲114本の桜が咲き誇ります…戸田桜づつみ

一般質問



平成 27 年 12 月 15 日撮影

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



そこがききたい

アンケート調査

結果の信頼性を高めるため回収率の向上を
「全庁的にしっかり取り組んでいく」



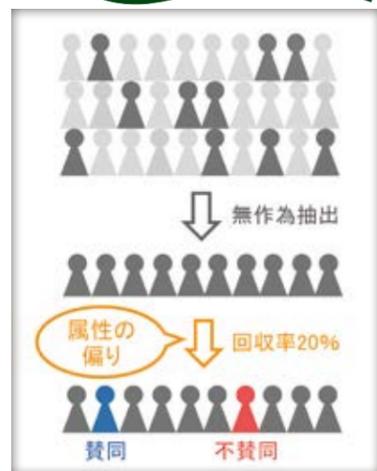
議員 アンケート調査の結果は事業計画等に反映されるが、回収率が低いと、回答者の属性に偏りが生じやすい。結果の信頼性を高めるために回収率の向上を。

真木大輔 議員

に、行政改革や事務改善という観点から、回収率向上に向け全庁的にしっかり取り組んでいく。

包括的な交通まちづくりビジョンの策定を

議員 過度なマイカー依存社会からの脱却は、住民のみならず、まちや行政に多くのメリットをもたらす。公共交通・自転車・徒歩が便利なまちに向け、包括



▲図のような調査結果において、賛同率は「50%」とされますが、仮に未回答の方全員の属性が不賛同であった場合、「10%」が本来の賛同率です。

公共料金値上げで 住みづらいまちに

「より優先性の高い事業に転換」



日本共産党戸田市議団 望月 久晴 議員

議員 市長は「住みたい住み続けたいまち戸田」というブランドを確立したいと言ったが、介護保険料、保育料、自転車駐車場の値上げ、敬老祝金の大幅削減で、戸田市は「老後の生活に向かない」として、県と埼玉大学の住民意識調査で転居希望がトップになるなど、戸田市は住みづらいつの市民の声が増えている。市民負担増の総額は5

億8千万円になるが、どう思っているのか。

市長 福祉分野においては、個々の事業で見れば見直しを行った事業もあるが、より優先性の高い事業に転換して、市民サービスを継続していくための不可欠な対応である。

税と介護保険の引き下げ②tocoバスの70歳以上の高齢者の無料化③介護従事者、保育士などの賃金補助④奨学金の全額返済を半額返済に、などの市民要求を実現できないか。

市長 中長期的な財政収支の視点から政策決定を行うが、質問の4点については、今のところ考えていない。

積み立てた基金25億円暮らしに生かして

議員 市民1人当たりの税収額プラス地方交付税でも戸田市は20万6千円で、川口市16万2千円、さいたま市18万円を大きく上回っている。また、27年度の予算執行の中で、税収の増額や不用額で多額の余裕財源が生まれ、補正で25億円も基金に積み立てを行っている。これだけの余裕財源があれば、①国保



▶tocoバス、70歳以上の高齢者の無料化実現を求める

市民医療センターの 経営改革プランは破綻か

「さまざまな視点から検討」



戸田の会 酒井 郁郎 議員

議員 市民医療センターは、5カ年計画の経営改革プランを実施したが、最終年度である28年度、計画では繰入金1億3500万円のところで、実際には約4億円を必要とする予算となっている。経営改革プランは破綻し、市民医療センターの、経営改革の主体としての適格性に疑問が持たれる。今後、医師の確保や医療機器の更新が滞

り、医療の質が低下することも考えられる。

市長 市民医療センターの収支改善と質の向上は大変重要な課題。経営形態について、さまざまな視点から検討していく。

防災対策、マンションの遅れが目立つ

議員 マンションの防災対策が遅れている。防災訓練や防災物資の備蓄等の対策は不十分。市からはハザードマップや広報などの資料すら配布されていない。このまま大地震が起これば悲惨なことになる。路線変更とギアチェンジが必要ではないか。

市長 ハザードマップ、「防災タウンページ」等の配布や、まちづくり出前講座を実施するなど、



▲抜本的な経営立て直しが待たれる市民医療センター

マンション住民の啓発を図る。

待機児童への対応が待たれる

議員 保育・学童保育の待機児童対策と、質の改善は。

市長 民間施設の新設を促していく。質改善については、保育施設への助言相談体制の強化や研修の受講等を行う。

的な交通まちづくりビジョンを策定しては。

市民生活部次長 都市計画と一体化した交通施策の策定を検討する。

都市整備部長 立地適

正化計画の検討を行う中で、あらゆる世代が多様な交通手段により移動しやすい環境に向けた交通まちづくりビジョンを検討する。

保育園での障害児受け入れの課題は

議員 障害を抱えた0歳児の保育園入園に関する相談を受けたが、何か課題があるのか。

こども青少年部長 障害を抱えたお子さんにとつての望ましい療育環境と、保育園としての保護者の就労支援との兼ね合いが課題。今後は、丁寧な面談の実施と受け入れ体制の整備を今まで以上に行う。

※繰入金……収支不足を補填するために充当される資金。

※立地適正化計画……人口減少と高齢化社会への対策として、居住や都市機能の適切な配置、公共交通の充実に関する施策等を定める計画。

派遣を取りやめ 直接雇用に戻すべき

「派遣は児童たちを第一に考えた結果」

本田 哲 議員

ALT



議員 小学校のALTを直接雇用から派遣に戻したことで、12人が「雇いどめ」となった。同意はあったのか。

議員 27年度中に退職した3人のALTは、帰国中に父親が病気で倒れ日本に戻れなくなつた方。妊娠のため10月末から産休となった方。大学への進学を8月下旬に相談し、「9月末までやってほしい」との要請に応えた方。辞めた理由等の認識は、これで間違いないか。

議員 27年度中に退職した3人のALTは、帰国中に父親が病気で倒れ日本に戻れなくなつた方。妊娠のため10月末から産休となった方。大学への進学を8月下旬に相談し、「9月末までやってほしい」との要請に応えた方。辞めた理由等の認識は、これで間違いないか。

議員 正当な理由で年度途中で辞めた3人のことをもって派遣へ戻す理由にはならない。また、授業が1カ月でできなかったことも理由にしているが、教育委員会が採用に当たり教育ビザ（在留資格）の確認を怠つたため、授業当日、「資格がない」と本人から連絡があり、学校に來なかつたことが原因と現役ALTから聞いたが、事実か。

議員 年末に、「派遣にする」と突然伝えるなど、ALTを「人」として扱わず、代替が利く「物」扱いしていることは大問題である。派遣を取りやめ直接雇用に戻すべきである。

議員 派遣としたのは、児童の教育を第一に考えた結果。授業に穴をあけずに、ALTを安定確保するため。



ALTの授業を見学しに戸田南小学校に行きました。

経済振興

住宅改修資金助成制度の充実を

「現状のまま実施、周知を図る」

花井 伸子 議員



議員 市民が市内業者を利用して20万円以上の個人住宅等の改修工事を行う場合、その費用の5%、限度額10万円を助成する戸田市住宅改修助成制度は平成24年にスタートしてから5年目を迎える。その実績と効果は。

議員 4年間で約30倍の経済効果が上がっている。蕨市では、27年度、国の地方創生交付金300万円を活用し

環境経済部長 実績については、4年間で65件、補助金総額401万8千円、総工事費は1億1800万円で、市民の住環境の向上や市内施工業者への支援に加えて、地域経済に対して大きな波及効果をもたらしている。



玄関を改修しました。

議員 市民、事業者、団体等の意見を聞くとともに、事業の充実、周知を徹底すべき。

環境経済部長 今後は広報、ホームページに加え、公共施設や住宅改修関係団体などにチラシを配置し、積極的周知を図る。

※ALT……外国語補助教員。

各町会の公園を1カ所は芝生化しては

「町会の要望があれば検討する」

高橋 秀樹 議員

緑地化



議員 各町会の公園を、1カ所は芝生化できないか。芝生化により幼児が外で遊ぶ機会も多くなる。表面温度は30度以下に抑えられ、熱中症の危険も少ない。②地球温暖化によりゲリラ豪雨や猛暑となっており、地球温暖化対策の効果もあるが③保育園や幼稚園の園庭の芝生化によって、園児



緑の芝生の広い園庭（ささめ保育園ホームページより）

が外で遊ぶ機会も多くなる。芝の根を保護するターフマットの開発がない。県の補助を活用すれば負担も少ない。④東京都は小中学校の校庭の芝生化を進めているが、戸田市の考えはどうか。

環境経済部長 ①新規の公園は、種類や目的に応じ、町会の意見を聞いて進めている。既存の公園は利用もある。②子ども青少年部長 ③こともあり、研究することもあり、研究すること。私立保育園は、2園が芝生化されている。

議員 スポーツセンターの屋内プールの改修計画は、どのようになっているか。

屋内プールの改修計画は

議員 スポーツセンターの屋内プールの改修計画は、どのようになっているか。

防犯対策

振り込め詐欺対策 強化後の効果は

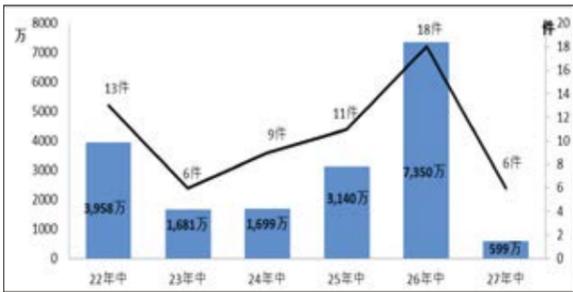
「平成27年の被害は大幅な減少」

竹内 正明 議員



議員 振り込め詐欺対策強化について平成27年の3月議会で提案した。現状は。

市民生活部次長 提案があった振り込め詐欺アンケートは、潜在実態の把握と意識啓発につながる効果的な事業と考え、高齢者を対象に実施した。他にもピ



▲戸田市内振り込め詐欺被害の推移…平成28年3月25日現在（暫定値）

迅速配信サービスの実施などにより、平成26年度の18件、7350万円の被害から、27年度は6件、599万円と大幅な減少へとつながることができた。

公共施設の電力は

議員 市内の公共施設の電力について、新電力会社へ移行してコスト削減を図るべき、と

平成26年の3月議会で提案した。現状は。財務部長 十分な財政削減効果が期待できるとの認識に至り、「高圧電力契約」について本年4月より切り替えを実施する。

議員 大変大きな削減効果である。4月から「小売りの全面自由化」も開始する。今後のコスト削減についても調査研究を要望する。

その他の質問

Q 県で昨年設立の「ひきこもり相談サポートセンター」等との連携、支援の強化を。 A 市の連携窓口を設け、利用者の利便性向上を図る。



海外留学奨学基金に 寄附を募っては 「実施に向けて検討していく」

遠藤 英樹 議員

ふるさと納税



議員 遠藤 英樹
税は地域の
の特産品
を寄附者
にお礼として送ること
で、そのような特産品
のある地域に有利に展
開する制度となってい
る。本市のように都市
部に位置し、主な寄附

支援する側もされ
る側も輝ける障害
者福祉を

者が現に住んでいる自
治体には、そのような
魅力を付与することが
難しい。東松山市の虹
色ファンドを参考に、
海外留学奨学基金に
ふるさと納税の寄附を募
ってはどうか。

教育部長 海外留学奨
学事業の資金確保は、
本事業を長く継続する
ために大変重要と考え
る。その方策の一つと
して、ふるさと納税を
検討していく。



障害者の就労と社会参加を支援する場所「大阪府堺市役所内「森のキッチン」」

社会起業家育成で障 害者福祉の新展開を

議員 堺市の地下食堂「森のキッチン」を運営するような事業者は社会起業家と呼ばれている。通常の起業家が企業としての利益や報酬で実績を計るのに対し、社会起業家は社会にどれだけの影響を与えたかを成功の尺度にしている。障害者福祉の分野で活躍しようと

している社会起業家を育成し本市の課題克服の力としてはどうか。

福祉部長 戸田市障害者就労プロセスマップに、障害者就労を進めるための各種助成金や各種制度を紹介している。プロセスマップを大いに活用していただき、社会起業家など、さまざまな法人の障害者就労の推進を支援していく。

口利き

防止条例の制定を

「不正はないので考えていない」

酒井 郁郎 議員



議員 酒井 郁郎
が各地で制定されている。過去には戸田市においても問題が起った。戸田市も検討を。

議員 口利き行為防止のために、行政への要望活動の記録と公開を定めた口利き防止条例

口利きはダメ！

保育環境の改善を

議員 ①食品添加物の使用抑制②使用済みおむつを保護者が持ち帰る制度の廃止(園での処分)に切り替え)が公立保育園で進んでいる。私立園においても実施を促してほしい。

子ども青少年部長 ①

公立園においては25年に議員からの質問を受けて削減を検討し、学校給食法より厳しい基準での対応に努めてきた。私立園に対しては、園長会議や栄養士会における啓発や情報提供を通して実施していく。②公立園においては28年度から切り替える。未対応の私立園には、市内の取り組み状況等を情報提供していく。

教育改革の推進を

議員 戸田市の教育改革ビジョンは。

教育長 今後10〜20年以内に、今ある仕事の49%は人工知能やロボットで代替される。社会の加速度的な変化に必要とされる問題解決力等の「21世紀型スキル」や協調性等の「非認知スキル」育成を目指す。



タブレットを使った授業風景。戸田市の教育改革、大いに期待します！

2月臨時会

主な議案

一般会計補正予算

歳出としては、人事院勧告に基づく人件費の増額、年金生活者等支援臨時福祉給付金事

業の新規計上など、歳入としては、同給付金事業に係る国庫補助金の新規計上、歳出に対する不足額として、前年度繰越金を見込んだものです。

質疑

Q これまで直接雇用派遣にする理由は、A 国全体でALITのニーズが急速に高まっており、質の高いALITを安定的に確

保することが大変厳しい状況になっていく。さらに、この3年間でALITが年度途中に退職するケースが続く、その際に代わりのALITを確保することが難しく、授業に穴をあけてし

まう、という直接雇用の課題が見えてきた。民間派遣ではALITが病気等で休む場合や急な退職にも、迅速に代わりのALITを派遣することができると、児童を第一に考え、28年度、小学校において、ALITの雇用形態を民間派遣へと変更することにした。

《結果》
原案可決(19対3)
※委員会ではALITの雇用形態について意見が分かれました。

正副議長就任あいさつ

「ボートのまちとだ」を強くアピール



議長 石井 民雄



副議長 遠藤 英樹

このたび、議員各位のご推挙により、私たちは議長並びに副議長に就任いたしました。戸田市議会議員信条を遵守し、戸田市議会基本条例及び戸田市自治基本条例にのっとり、円滑な議会運営に努めてまいります。

戸田市は本年、市制施行50周年の節目の年を迎えます。記念の年にふさわしい記憶に残る1年となるよう、市民の皆様と一緒に盛り上げ、戸田市のさらなる飛躍に向けて、力を尽くしていく覚悟でございます。

特に、本年9月17日・18日に開催されます全国市町村交流レガッタ戸田大会では、「ボートのまち とだ」を強くアピールしたいと考えております。

今後とも、皆様方の一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《会派変更のお知らせ》

- 2月2日付で高橋秀樹議員が「志政クラブ」を脱会し、「無所属」会派を結成しました。
- 2月2日現在の会派構成は下記のとおりです。
- 志政クラブ 6人、平成会 5人、公明党 5人、戸田の会 4人、日本共産党戸田市議団 3人、無所属 1人

| 区 | 分 | 委員長 | 副委員長 | 氏 名 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------------------|-----|------|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|---|
| 特別委員会 | 交通対策 | 手塚 | 花井 | 中 | 山 | 金 | 野 | 三 | 輪 | 岸 | 細 | 田 | 真 | 木 | 石 | 川 | 伊 | 東 |
| | 議会改革 | 遠藤 | 藤竹 | 内 | 馬 | 場 | 本 | 酒 | 井 | 三 | 浦 | 山 | 崎 | 熊 | 木 | | | |
| 一部事務組合 | 競艇組合議会(議長:秋元) | 中山 | 金野 | 細 | 田 | 本 | 田 | 遠 | 藤 | 高 | 橋 | 望 | 月 | 酒 | 井 | 手塚 | 三浦 | |
| | 衛生センター組合議会(議長:榎本) | 峯岸 | 馬場 | 真 | 木 | 竹 | 内 | 石 | 川 | 伊 | 東 | 花 | 井 | 酒 | 井 | 熊 | 木 | |

常任委員会・議会運営委員会のメンバーは、22ページ参照。

27年度

常任委員会の年間活動成果

委員会は、議案や請願の審査のほか、所管の範囲で調査事件を定め、市政に関する調査活動を行うことができます。本市議会では、常任委員会ごとに具体的な年間活動テーマを決め、原則、毎月1回委員会を開催し、行政に対して政策提言を積極的に進めています。

提言書は、議会事務局に置いてあるほか、議会ホームページからもご覧いただけます。

主な議案

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果



総務委員会

官民協働で進める公共施設の整備手法について

総務常任委員会では、平成27年度の年間活動テーマを「官民協働で進める公共施設整備のあり方について」と定め、調査研究を進めてきました。

このテーマにある「民」とは、民間企業だけを指すのではなく、市民など幅広い意味での「民」を指しています。先進地への視察についても、民間企業だ

けでなく市民を巻き込んだ取り組みを展開している自治体を選定し、その先進事例も踏まえ、本市が取り組むべき施策について協議を重ねました。その成果として、「官民協働で進める公共施設整備のあり方」についての提言書をまとめ、執行部に提出しました。

この提言書は、公共施設の整備や維持管理、

運営等に、民間の資金や経営ノウハウ等を活用するPFIという手法の導入検討を促すものです。民間との協働という点では指定管理者制度等、他の手法もあることから、当委員会としては、さまざまな手法の一つとしてPFIも検討することで、その施設にとって最適な整備手法の導入を求めるものです。

提言項目は3項目にわたります。その要旨は次のとおりです。

【提言1】PFIの導入検討について

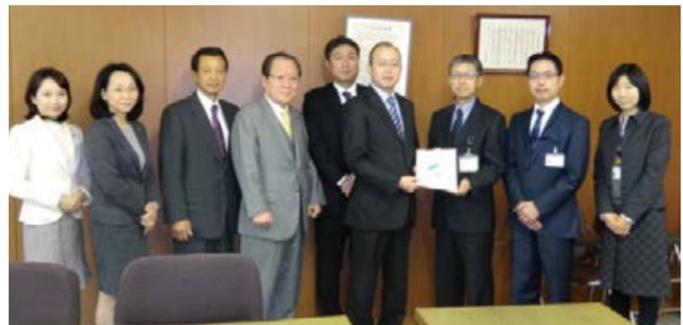
愛知県岡崎市では、公共施設を整備する際、事業期間や事業規模等から、PFIの適性があるかどうかを確認するための検討作業を行っています。PFIは、資金調達のほか、市民を含めた民間との協働を推進する手法としても、優れた点が多いことから、公共施設を整備する際、PFIの導入を検討すること

【提言2】有利性を客観的に検証できる基準づくりについて

PFIの適性があるかどうかと判断できても、さらに、その公共施設にとってPFIが有利な手法かどうかの検討が必要になります。その検討作業により、庁内縦割りの発想では思いつかなかった手法の発見や、市民サービスの向上も期待できます。そこで、PFIの有利性が客観的に検証できる基準を設けることを提案するものです。

【提言3】メリット・デメリットを含めた多面的な検討について

PFIは、資金調達やコスト削減という財政面のメリットが強調されがちですが、市民を巻き込んだ施設運営等により、提供できるサービスの幅に広がりを持つことができるという大きなメリットがあります。



27年12月15日 財務部へ提言書を提出

文教・建設委員会

いじめ・不登校等に関する課題の解決に向けて

文教・建設常任委員会では、平成27年度の年間活動テーマとして、「いじめ・不登校等問題について」を中心に調査研究を進め、これらに関する課題の解決に向け、特に実施しても

2月15日 教育委員会へ提言書を提出



「いじめ・不登校」に関する課題の一つとして「いじめ・不登校」に関することが挙げられますが、近年発生している事件と過去に発生した事件では内容や性質が変化し、フェイスブックやラインなどのSNSを利用し、いじめやトラブルに巻き込まれるケースが増えていることから、その現状を踏まえ、少しでも解決に導くことができないか、調査・研究を重ね、提言書を提出するに至りました。

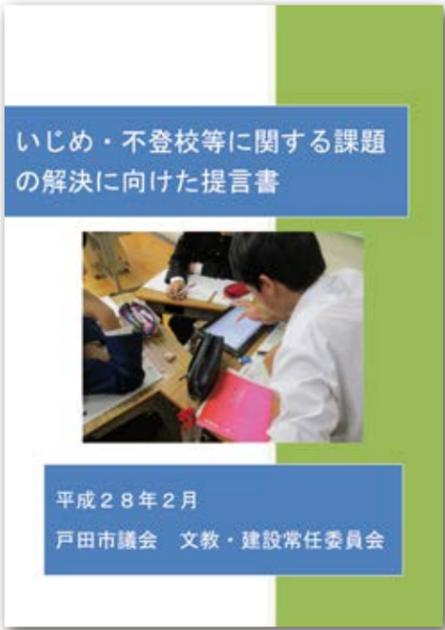
①教員の研修会の充実について
教員がスクールカウンセラーの視点から児童生徒と接し、いじめや不登校等の問題を解決に導くことができる教員の養成を図るべく、教員向け研修会のさらなる充実を検討すること。

②SNSによるいじめ防止啓発パンフレットの作成及び啓発活動について
いじめにSNSが利用されているケースが増えている現状を鑑み、保護者のみならず、児童生徒もSNSの正しい使い方などが理解しやすく工夫された啓発パンフレットを作成すること。また、啓発活動の充実を図ること。

③家庭における教育の啓発活動及びその支援体制の構築について
携帯電話やスマートフォン所持率が上がっているが、小中学校では、スマートフォン等の持ち込みを禁止しており、児童生徒がSNS

Sを利用するのは、学校外である。学校における管理は難しいと考えられ、家庭における教育、保護者の理解を求めることが必要である。家庭における教育の啓発活動は、ポトムアップにより、重要性を保護者等によく理解していただくことが不可欠であり、それを踏まえた上で、家庭教育を推進、支援する方策を検討すること。

④地域における児童生徒の見守り意識の高揚及び情報を学校に提供できる取り組みについて



学校や家庭で啓発や教育を進めても、公園や広場など、人目のつかない場所ではトラブルが発生する機会が多い。市民の方の意識の高揚を図り、全員で児童生徒を見守り、情報を家庭や学校に提供したり、その場で指導するような取り組みについて検討すること。

⑤学校と各機関との連携について
警察や地域の方、PTAなどの各機関との連携が重要であることから、さらなる強化を図ること。

学校や家庭で啓発や教育を進めても、公園や広場など、人目のつかない場所ではトラブルが発生する機会が多い。市民の方の意識の高揚を図り、全員で児童生徒を見守り、情報を家庭や学校に提供したり、その場で指導するような取り組みについて検討すること。

⑤学校と各機関との連携について
警察や地域の方、PTAなどの各機関との連携が重要であることから、さらなる強化を図ること。

学校や家庭で啓発や教育を進めても、公園や広場など、人目のつかない場所ではトラブルが発生する機会が多い。市民の方の意識の高揚を図り、全員で児童生徒を見守り、情報を家庭や学校に提供したり、その場で指導するような取り組みについて検討すること。

⑤学校と各機関との連携について
警察や地域の方、PTAなどの各機関との連携が重要であることから、さらなる強化を図ること。

主な議案

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果

健康福祉委員会

データヘルスによる健康寿命の延伸と学童保育の充実を

平成27年度は、「健康寿命の延伸と国民健康保険財政の健全化について」と「学童保育の充実について」を年間活動テーマに、調査研究を行い、テーマごとに提言書を作成し、

執行部に提出しました。

【健康寿命の延伸と国民健康保険財政の健全化を目標として】

本提言書では、①効果的かつ効率的な保健事業を実施するための



「データヘルス計画」による施策への取り組みによる、健康寿命の延伸と国民健康保険財政の健全化の推進②PDCAサイクルの確立による保健事業の実施③医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携④生活保

護受給者への健康管理支援による医療扶助の削減、以上4項目を提言しております。

健康寿命の延伸には、国民健康保険被保険者の医療情報データベースの分析により把握した、頻回受診者及び重複受診者への保健指導による受診及び服薬の適正化や、検診により異常が見られるものの、医療機関を受診していない方への受診勧奨といった保健指導を行い、病気の早期発見、早期治療、重症化の予防、適正な受診、服薬と

いった取り組みが非常に重要であることから、「データヘルス計画」による効果的・効率的な保健事業を実施し、健康寿命の延伸と国民健康保険財政の健全化に取り組みでいただくことを提言しました。

【学童保育の充実についての提言書】

「学童保育の充実」は、市内公立学童保育室の視察、民間学童保育事業所の代表者との

意見交換会、東京都大田区の学童保育事業の視察といった取り組みから、市内の学童保育室の現状と先進自治体の取り組みを考察し、関係者との意見交換などで認識した課題の解決と学童保育の充実につながる①待機児童対策②安全な移動の確保③小学校との連携強化④指導員の資質の向上⑤プログラムの充実⑥今後の施策の方向性、以上6項目を提言しております。

学童保育のより一層の充実には、指導員の資質を向上させること、提供するプログラムの充実を図ること、学童保育室と小学校との連携を強化し、小学校と家庭をつなぐ学童保育室の円滑な運営を行うこと、さらに学校外の学童保育室については、安全な移動の確保が確立されるようサポートすることなどの取り組みが求められます。また、学童保育のニーズの高まりもあり、待機



▶3月16日、こども青少年部へ提言書を提出

児童解消対策も重要な取り組みとなります。その実現に向けて、目指すべき学童保育の形を明確にし、最適な効果的な施策を選択し、計画的かつ継続的に実施していく仕組みづくりを取り組んでもらうことを提言しました。

市民生活委員会

スポーツセンター屋内プールの早期再開に向けて

「戸田市スポーツセンターの今後のあり方について」を年間活動テーマとし、調査研究を進めてきました。

先進地や戸田市スポーツセンターへの視察



を実施し、協議した結果、「戸田市スポーツセンター屋内プールの早期再開に向けての提言書」を作成し、執行部へ提出しました。

【再整備の大きな方向性】

約30年後に見込まれる戸田市スポーツセンター全体の再整備に向け、今回はプール棟のみの建て替えを行うべきと提言しています。

【再整備の基本方針】

多くの市民が望む屋内プールの早期再開を目指すこと、市民の健康増進やスポーツレクリエーションを目的とした施設にすること、市の財政状況を鑑み、再整備事業費の節減を

戸田市スポーツセンター屋内プールの早期再開に向けての提言書



平成28年2月 戸田市議会 市民生活常任委員会

図ることの3点を提言しています。

【再整備の具体的方策】

①プール棟の建て替えと、ゲーム棟及びセンター棟の改修を行った場合、約30年後に双方の更新時期が同時に訪れることが見込まれ、スポーツセンター全体の再整備は、その際に検討を行うべきと考えられることから、プール棟のみの建て替えを行い、ゲーム棟及びセンター棟は改修による長寿命化を図ることを提言しています。

②屋内プールを早期に再開するため、屋外

③建て替えによる新たなプール棟は、市民の健康増進やスポーツレクリエーションを目的とした必要最低限の機能を有する簡素な施設とすることを提言しています。

④屋内プールが市民の健康増進やスポーツレクリエーションに資するよう、市民が屋内プールを気軽に利用できる料金設定とすることを提言しています。

⑤プール棟建て替えの手法として考えられるPFIは、整備に要する期間の長期化や事務作業の煩雑化等が懸念されることから、PFIを積極的に選択する必要はないと提言しています。

⑥再整備事業費の節減を図ることが望ましいことから、屋内プール棟の設計段階から運営主体を参画させること、もしくは行政または第三者による設計の見直しを図ることを提言しています。

2月臨時会

常任委員会の任期2年目ですが、伊東委員と遠藤委員の所属委員会が変更になり、議会運営委員会もメンバーが交代しました。

| 委員会名 | 委員長 | 副委員長 | 委員氏名 | | | | | | | |
|---------|-----|------|------|----|----|----|----|----|--|--|
| 総務 | 伊東 | 細田 | 金野 | 高橋 | 花井 | 三浦 | | | | |
| 文教・建設 | 榎本 | 峯岸 | 中山 | 竹内 | 遠藤 | 熊木 | | | | |
| 健康福祉 | 山崎 | 三輪 | 望月 | 酒井 | 手塚 | 石井 | | | | |
| 市民生活 | 本田 | 真木 | 馬場 | 石川 | 秋元 | 栗原 | | | | |
| 議会運営委員会 | 熊木 | 伊東 | 中山 | 峯岸 | 本田 | 榎本 | 酒井 | 手塚 | | |

28年度 議員の任期最終年のテーマは?

- ▶総務委員会 市役所庁舎の有効利用について
- ▶文教・建設委員会 市内3駅周辺の整備について
- ▶健康福祉委員会 介護予防・日常生活支援総合事業について
- ▶市民生活委員会 地域に親しまれる公園について

4月に発生した熊本地震で亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

埼玉県戸田市議会

題字を書いた人



喜沢中学校 3年 右田 直輝 さん

平成23年9月定例会号から、戸田市内にある小学校12校と中学校6校の児童生徒に、「とだ」の字を書いてもらっています。

今回の号から2順目に入りますが、「とだ」の字を目立たせるように少し大きくし、逆に「議会だより」の字を小さくしてみました。

議会日誌

1月

- 12日 議会モニターとの意見交換会
- 14日 一区議長会議員研修会
- 15日 議会広報委員会／文教・建設委員会／市民生活委員会／**所沢市議会視察来庁**
- 18日～19日 一区議長会行政視察
- 19日 **宮城県登米市議会視察来庁／山形県米沢市議会視察来庁／健康福祉委員会視察**
- 20日 議会改革特別委員会
- 21日 議会広報委員会／**滋賀県草津市議会視察来庁**
- 22日 県議長会役員会／**草加市議会視察来庁**
- 25日 県南都市問題協議会環境問題研究部会視察／**県南都市問題協議会危機管理問題研究部会講演会**
- 27日 議会運営委員会／常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
- 28日～29日 戸田競艇組合議会常任委員会視察

2月

- 1日 県南都市問題協議会都市計画・交通問題研究部会視察
- 3日～4日 2月臨時会 本会議（議案審議、各種選挙等）
- 8日 戸田競艇組合議会議会運営委員会
- 9日 **滋賀県守山市議会視察来庁**
- 10日 戸田競艇組合議会／議会改革特別委員会／**蕨市議会視察来庁**
- 12日 蕨戸田衛生センター組合議会議会運営委員会／蕨戸田衛生センター組合議会全員協議会
- 15日 議会運営委員会／常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
- 18日 **大阪府吹田市議会視察来庁**
- 19日 議会モニター委嘱状交付式／蕨戸田衛生センター組合議会
- 22日 本会議（開会、施政方針、議案説明）／議会運営委員会
- 23日 県市議会議長会議員行政研修会
- 24日 本会議（議案説明）／議員互助会役員会
- 26日 戸田競艇組合議会／蕨戸田衛生センター組合議会

3月

- 3日 本会議（総括質問）／議会広報委員会
- 4日 本会議（議案質疑）／委員長会議／議会運営委員会
- 7日～9日 本会議（一般質問）
- 9日 議会運営委員会
- 11日、14日～15日 常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
- 16日 常任委員会（総務／健康福祉／市民生活）
- 17日 特別委員会（交通対策／議会改革）／議会運営委員会
- 25日 本会議（委員長報告、討論、採決）／健康福祉委員会／議会広報委員会

知っtocoクイズ当選者

12月定例会号

「知っtocoクイズ(No.4)」の正解は、問1「一問一答」、問2「16」でした。

正解者13人の中から厳正なる抽選の結果、次の方にクオカードを贈りました。

- ・青沼みつおさん
- ・加藤朋大さん
- ・近藤より子さん
- ・小池純一さん
- ・寺岡史香さん

おめでとうございます。

6月定例会の予定

※ 日程は変更になる場合があります。

- 6月3日(金) 本会議（開会、議案説明）
- 10日(金) 本会議（質疑、請願の提出、委員会付託）
- 13日(月)
- 14日(火)
- 15日(水)
- 16日(木)
- 17日(金) 常任委員会
- 20日(月) 特別委員会
- 27日(月) 本会議（委員長報告、討論・採決、閉会）

気軽に市役所へ傍聴においでください。

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）
本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。

年 年齢とともに気になる健康。あれこれと試したサプリメント。効果がなかったのか、いまだにわからない。基本は規則正しい生活とバランスの良い食事、そして、体力維持のための運動。さー、今年も春から頑張るぞー！

早 いもので、もう5月である。2016年は、いろいろと始まることたくさんある。1月からマイナンバーの交付が開始、3月は北海道新幹線開業、4月は電力完全自由化、そして、7月の参議院通常選挙より18歳以上が投票できる。

サ クラが演出する入学式や企業の入社式・人事異動・事業計画など、新年度の始まりは、お正月の新年の始まりとは違って、別な新たなスタートの気持ちになる。新鮮な気持ちを持ち、チャレンジしよう。

市 議会レガッタ部に所属している私。9月の全国市町村交流レガッタ戸田大会に向け乗艇し練習中。力まず漕いでいるだろうか？チームとの息は合っているだろうか？そもそも持久力がないことが心配である。

石 の上にも3年、3年間は休んでいます。今、3年半が過ぎて、「やめまじた」と言えるようになってきました。禁煙の話です。禁煙と1時間のウォーキングで健康の維持に全力。45年以上の紫煙生活に、さようなら。長生きするぞー！

